

総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会(第25期・第3回)
・計算力学小委員会(第25期・第2回)合同会議
議事録

日時：令和3年12月6日(月) 11:51～12:36

会場：日本学術会議6階(A)-(1)対面および遠隔会議(ハイブリット開催)

出席者(順不同、敬称略)：

計算科学シミュレーションと工学設計分科会委員：

越塚誠一、高木周、大出真知子、平野徹 (遠隔：金田千穂子、松尾亜紀子、
大島まり、所千晴、吉村忍、伊藤恵理、伊藤宏幸、梶島岳夫、加藤信介、金子成彦、
金田行雄、河合宗司、岸本喜久雄、北村隆行、小林広明、坂本真樹、佐々木直哉、
渋谷陽二、高田章、高橋桂子、萩原一郎、橋口公一、藤井孝藏、藤代一成、
矢川元基)

計算力学小委員会委員：

[平野徹、越塚誠一、高木周]、土谷隆、古田一雄 (遠隔：[萩原一郎、大島まり、
吉村忍、矢川元基]、岡田裕、寺田賢二郎、松本敏郎、横野泰之)

[] 内は親分科会委員を兼任

- ・会合の最初に、越塚委員長から開催挨拶が行われた。
- ・その後、資料2，3を用いて、分科会委員、小委員会委員の確認がなされた。

(1) 前回議事録の確認

- ・越塚委員長が、資料4，5を用いて議事録内容の確認を行った。
- ・計算力学小委員会については平野委員長が資料6を使って議事録確認を行った。

(2) 総合工学委員会・機械工学委員会の活動報告

- ・本分科会が所属している機械工学委員会の活動について大島委員から紹介があった。
- ・吉村委員から第3部の状況について以下の通り紹介があった。この一年間は学術会議のあり方について検討を進め、改革を進めることとなっている。関係がある内容としては、科学的助言機能のあり方について改革案が定まってきたことがある。特に「見解」というものを作ることが決まった。この件については、分科会委員長へ事務局から連絡が行くこととなる。今後、意思の表出を行う際には、新しい手順に沿って行うこととなる。前期ま

ではマスタープランを作ることで大型の学術テーマをまとめるということが行われていたが、前述の対外的な学術的助言機能の改革に合わせて、今期は従来型のマスタープランは作らないこととなった。未来の学術振興へ向けた重要な学術研究については、ボトムアップ的なものを学術コミュニティとしてまとめていくことは大事なので、新しい形式で行うための作業を、機械工学委員会の光石先生が分科会長である科学者委員会学術研究振興分科会で急ピッチで進めている。また、学術会議の活動は分野横断的であることが重要であることが改めて確認された。総合的俯瞰的な立場での検討は、個別の分科会等、従来のボトムアップ的な活動ではできないような場面もあるであろうということで、様々な連絡会を作り横断的な取り組みを行うこととなった。すでにカーボンニュートラル、感染症に関する連絡会が立ち上がっている。

(3) 分科会・各小委員会の活動報告

- ・越塚分科会委員長より資料7に沿って分科会活動について報告された。
- ・平野計算力学小委員会委員長より、議事録の説明の際に報告した以外の事項として、カーボンニュートラル連絡会への参加報告があった。資料8を用いて説明がなされた。当日4件の報告があったこと、小委員会として積極的に参加して行くことが述べられた。
- ・吉村委員より、カーボンニュートラル連絡会について加えて説明があった。学術会議のWEBに連絡会のページができたので、活動を掲載していく。他の分科会と合同でシンポジウムなどを開くことや、関係するシンポジウムにはこの連絡会のシールを貼るなど、連携を深めていくことが報告された。萩原委員より、現状どこまでこの動きが進んでいるのか確認したい旨発言があり、吉村委員より連携はこれからである旨説明があった。
- ・次いで、計算科学を基盤とした産業競争力強化の検討小委員会の佐々木委員長より活動報告があった。会合を2回開催した。提言を作成するために、メールでの意見交換を行っている。本年度中に出せるように準備している。
- ・関連して吉村委員より提言等の発出の仕方が変わる予定である旨改めて説明があった。提言は分科会が出すことが多かったが、今後はコンサルをする機能が加わったので、今後越塚委員長や佐々木委員長に連絡をする。来年1月末には新しい手続きが決まるので、それに沿ってすすめることとなる。
- ・計算音響学小委員会について萩原委員より説明があった。1回目が6月28日(月)、2回目が12月1日(水)、3回目は2月ぐらいに開催する予定である。都立大学の吉村卓也先生が委員長となった。1回目は3件の話題提供。2回目は1件の話題提供があった。吉村先生に特任連携会員として委員追加の提案があり、分科会により承認された。

(4) その他

- ・越塚委員長より来年の7月31日～8月5日にかけて、WCCM-APCOM2022が日本（横浜）で開催される旨案内があった。現在発表申込の段階で、締切は1月9日である。本会議参加者の積極的な発表への期待が表明された。

配布資料：

- 資料1 開催通知
- 資料2 計算科学シミュレーションと工学設計分科会委員名簿
- 資料3 計算力学小委員会委員名簿
- 資料4 計算科学シミュレーションと工学設計分科会第1回会合議事録
- 資料5 計算科学シミュレーションと工学設計分科会第2回会合議事録
- 資料6 計算力学小委員会第1回会合議事録
- 資料7 計算科学シミュレーションと工学設計分科会活動報告
- 資料8 カーボンニュートラル（ネットゼロ）に関する連絡会議
- 資料9 第11回計算力学シンポジウムポスター

以上